

人間の  
新伝説

# とつとらず川と龍神

作 藤原 玄洋

## ● 出演者

ポン太  
コン平  
ピョン  
龍神  
殿様  
家来  
祈祷師

ナレーション

## ● スタッフ

演出 藤原玄洋  
演出補 藤原玄洋  
人形美術  
舞台美術  
音楽  
音響効果  
照明  
舞台監督  
舞臺補作  
制作

(c) 2005 FUJIWARA Gen'yo

## オープニング 雨の山

-----  
音楽。

真つ暗な中に、「としとらず川とりゆうじん」のタイトル出る。

ナレーション 武蔵野をぬって、(川の水音)入間市を流れる「としとら

ず川」と呼ばれる小さな川があるのをご存じですか？ 昔は、

大変な暴れ川だったそうで、田植えの時分になると、毎年決ま

って嵐がやってきて、(激しい風の音)川があふれて、(村の遠景

暗く出る)大洪水になりました。せっかく植えた、(稲穂が激しく

ゆれる)稲の苗は流され、村人たちは、たいそう困っていたので

す。

-----  
風の音、大きくなり、やがて小さくなる。

間。

空が明るくなる。

## 第1場 晴れ間の山

-----  
山の中の広場。上手には、大きな木、下手には、小さな草むら(黒)がある。  
タヌキのポン太、キツネのコン平、ウサギのピョン、下手より登場。

コン平 毎日まいにち、雨ばかり。  
ピョン お家で、じつとしてなきやいけないから、いやーねー。  
ポン太 せっかく晴れたんだから、何かして遊ぼうよ。  
ピョン 何がいいかしら。  
ポン太 何して遊ぼうか。  
コン平 かくれんぼ、やろうよ。  
ポン太 かくれんぼ？ やろうやろう。じゃ、オニはコン平君ね。  
コン平 ダメだよ。オニは、ジャンケンで決めるんだよ。  
ピョン そうよ、ジャンケンしよう。  
ポン太 やだよお。だってボク、ジャンケン弱いんだもん。

ピョン だめだめ、ジャンケンしましょう。  
ポン太 やだなあ。ジャンケン弱いんだもん。  
コン平 じゃ、いくよ。ジャンケンに勝つオマジナイするから。(後ろを向いて) どーか、ジャンケンに勝ちますように。ムニヤムニヤのペアとお。  
ポン太 ボクだつてー。(後ろを向いて) どーか、ジャンケンに勝ちますように。ムニヤムニヤのペアとお。  
三 匹 セーのお。最初はグー。ジャンケン、ポン。  
ピョン わーい、勝った、かった。  
二 匹 最初はグー。ジャンケン、ポン。あいこでしょ。  
コン平 えへっ、おれ、勝っちゃった。  
ポン太 わーっ、負けちゃったあ。だから、ジャンケン弱いっていったのに……。  
ピョン いいから、いいから。ポン太くんオニよ。  
ポン太 コン平くん、オニになってよ……。

ピョン さあさあ、ポン太くん、早くオニになって。オニはポン太くんよ。

-----  
ポン太、上手の木に、目をかくしてオニになる。

コン平 じゃあ、かくれるぞお。

-----  
二匹、かくれるところをさがすふう。

ポン太、素早く振り返ってかくれるところを見る。

ピョン あっ、見た！ ポン太くん、ずるい。

コン平 見ちゃダメだよ、ポン太。

ピョン かくれるまで、見ちゃダメだよ。

ポン太 見てないよお。

ピョン 十、数えるまで見ちゃダメよ。

ポン太 わかったよお、もう、見ないよお。

ピョン 早く、数えて。

ポン太 わかったよお。（木のところでオニになり、素早く数を数える）いち

にさんしごろくしちはちくじゅ！（振り向く）

ピョン ダメよお、ポン太くん。そんなに早く数えたら、かくれられないじゃない。

ポン太 早く数えろっていったじゃないかあ。だから、オニは、やだっ  
ていったのにー。

ピョン いいから、早く、オニになって。

ポン太 うるさいなあ。やるよ、やるよ。やればいいんでしょ。（今度  
は、ゆつくり数を数える）いーち、にー。さーん、しー、ごー、ろー  
く、しーち、はーち、くー、じゅーっ！ もういいかい。（間）

-----  
二匹、かくれる。コン平は、忍び足で上手に退場。ピョンは草むらに、かくれる。わずかに耳が見えている。

二匹 もういいよ。

ポン太 （振り向いて）かくれたなー。よーしっ。どこに、かくれちゃ

ったのかなあ。ここには、いないなあ。どこに、かくれちゃったのかなあ。(間)あーあ、さがすのいやになっちゃったなあ。

-----  
ポン太、うろろさがす。ピヨンの耳に気づき。

ポン太 あっ、ピヨンちゃんの耳。(草むらに近づく)ピヨンちゃん見つけ。

ピヨン 見つかっちゃったあ。どうして、見つかっちゃたのかしらあ？

ポン太 ウフフツ、教えないもんねー。(また、うろろさがす)コン平くんは、どこにかくれたのかなあ。(間)いないなあ。(間)こっちなあ。

-----  
風の音がして、少し雨が降ってくる。

コン平、上手から、あわてて出てくる。

コン平 大変、たいへんだ。また、雨が降ってきたぞ。

ポン太 あっ、コン平くん、見つけっ。

コン平 何いってんだ。また、大嵐になるぞ。

ピヨン 早く、おうちに帰りましょう。

-----  
三匹、あわてて、下手に退場。

風の音、大きくなる。

## 第2場 雨の山

-----  
風の音、激しくなり、雨が降って、大嵐になる。

田植えをしたばかりの、稲の苗が、激しく揺れる。

小さな龍神が、上手から下手に、上空をゆっくり横切る。

風の音激しくなり、稲の苗は、流されていく。

暗転。

### 第3場 晴れ間の山

-----  
風の音、静まり、雨もやむ。

空が明るくなり。

三匹、下手から登場。

ピョン 今度の嵐は大変だったね。

ポン太 うん、大変だったねえ。

コン平 川があふれちゃって、田んぼが水びたしになっちゃって、せつかく植えた稲の苗が、みんな流れちゃったみたいだよ。

ポン太 どうして、こんなに雨がいっぱい降るの？

ピョン 龍神が怒って雨を降らせているって聞いたわ。

コン平 なんでも、殿様が今年は龍神に生け贄のお供えをしなかったからだって……。

ポン太 ケチな殿様だね。生け贄くらい、いっぱいやればいいじゃない

か。(間) 生け贄って何だい？

コン平 バカ、生け贄っていうのは、オレたちみたいな動物たちを、生きたまま龍神に食わせるってことだい。

ピョン いやあーっ、こわい。

-----  
殿様の登場を知らせる太鼓の音。

コン平 誰かくる。かくれろ！

-----  
三匹、草むらにかくれる。ピョンの耳が、わずかに見えている。

太鼓の音。

上手より、家来と、馬に乗った狩装束の殿様、登場。

家来は、生け捕りにしたキジを持っている。

家来 殿様、このあた辺りでいかがでしょう。

殿様 うむ。

家来 生け贄が少ないといつて、川の龍神様が大暴れしております。

殿様 うむ。

家来 このままでは、田んぼが流されて、百姓どもから、年貢がとりたれられませぬ。

殿様 うむ、それは困った。

家来 このキジ一羽では、とうてい龍神様の怒りを静めることはできませぬ。

殿様 うむ、わかっておる。

家来 ではー、さつそく……。 (ピヨンの耳に気づく。声をひそめて) あつ、殿様、あちらを。

殿様 うむ。

-----  
殿様は、矢をつがえ、草むらに弓を射る。矢、とぶ。

草むらから、足に矢の刺さったピヨン、逃げ出してくる。

ピヨン いたーいっ。たすけてー。

-----  
家来、ピヨンにとびかかり、草むらの中に入り、縄で縛る。(フキカエ)

家来、ピヨンを引つ張って出てくる。

家来 殿様、お手柄です。ウサギをしとめました。

殿様 うむ、これで、龍神も満足するだろう。

家来 では、さつそく川の祠ほくらに、生け贄を供えましょう。

殿様 うむ、では参ろう。

家来 さあ、こつちに来い。

-----  
殿様、家来、ピヨンとキジを引つ張って、上手に退場。

ポン太とコン平、草むらから顔を出す。

悲しげな音楽。

ポン太 大変だあ。ピヨンちゃんが……。

-----  
二匹、草むらから出てきて、上手を見送る。

コン平 何とかしなきゃあ。  
ポン太 どうしよお……。  
コン平 とにかく、追いかけてよう。

――二匹、上手に退場。  
暗転。

## 第4場 としとらず川の祠

――川の音、小さく聞こえる。

ややあつて、祈祷師の祈りの声が聞こえる。祈りにあわせて効果音。明るくなど、下手に、草むら。その上に、「龍神社」ののぼり。

中央下手よりに、小さな祠があり、縛られたピョンとキジが、供えられてい

る。

祠の前で、祈祷師が御幣を打ち振るって、祈っている。

殿様は馬に乗って、上手かたわらにいる。家来、その前にひかえる。

神主 ハンニヤアハーラ、ミッター、ソワカ。ハンニヤアハーラ、ミッター、ソワカ。龍神様、ここに生け贄を、お供えしまするに、どうかお怒りをお鎮めくださいませー。(繰り返し)

――ポン太、コン平、祈りの途中から、下手のぼりの陰から顔をのぞかせ、様子をうかがって、すぐに引つ込む。

神主、祈りを終える。

家来 殿様、これで一安心でございます。  
殿様 うむ。  
家来 これで、百姓どもから、年貢をとりたてることができます。  
殿様 うむ、それは恐悦至極じゃ。



----- 太鼓の音。

神主を先頭に、殿様と家来、下手に退場。

激しい雷の音。

まわりは暗くなる。

小さな龍神、下手上空より現れ、上手上空に去る。

コン平

(コン平、ポン太草むらから首を出し、上を見上げる) あつ、龍神

だ！ ポン太、かくれる！。

----- 辺りが暗くなる。

激しい風雨の音。

龍神、上手より現れ、祠の前に降り立つ。

龍神

ケチな人間どもめ、ようやく生け贄を供えやがったか。ではごちそうになるか。

----- キジを食べようとする。

激しいタイコを乱打する音。

龍神、キジをくわえ、あわてて上手に飛び去る。

雨は止み、風の音。

ポン太、コン平、下手のぼりの陰から顔をのぞかせる。

コン平

ポン太、龍神は行ったか？

ポン太

うん、ボクたちの大きな音に驚いて、行っちゃったよ……。

コン平

ポン太、龍神が戻る前に、ピョンを助けよう。

ポン太

大丈夫かい？ 龍神が戻ってきて、ボクたち食べられちゃわな

いかい？ (コン平、草むらに降りる)

コン平

いいから、早くしろ。

ポン太

コン平くん、龍神が戻ってきて、ピョンちゃんがいなくてわかつたら、龍神が怒ってボクたちを追いかけてこない？ そしたら、ボクたちみんな食べられちゃうよ……。

コン平

大丈夫、オレにいい考えがある。ポン太、あっちのナス畑に行

って、できるだけ大きなナスをとってこい。

ポン太 ナスなんか、どうするの？

コン平 いいから、早くしろ。龍神が戻ってくる。

ポン太 わかった。

コン平 たのんだぞ。

-----  
ポン太、下手に退場。

コン平、縛られたピヨンの縄をほどく。(フキカエ)

コン平 ピョン、大丈夫か？

ピョン ありがとう。少し、足は痛いけど……。

-----  
ポン太、下手から、ナスを抱えて、戻ってくる。

ポン太 コン平くん、これでいいの？

コン平 早く、こつちに渡せ。(ナスでイノシシのような生け贄の人形を作る)

ポン太 何、作ってるの？

コン平 ピヨンの代わりに、ナスで生け贄を作って、龍神に食べさせるのさ。

ポン太 早く逃げないと、龍神が戻ってくるよ。

コン平 いいから、おまえも手伝え。

ポン太 どうするの？

コン平 動物の形にうまく作るんだ。

ポン太 ナスなんて、龍神が食べるかなあ……。

コン平 大丈夫、おばあさんから前に聞いたことがある。腹痛はらいたをおこした龍神がナスを食べたら治ったって、いい伝えがあるんだそう  
だ。きっと、大丈夫。

ポン太 わかった。(ナスで作った生け贄を、祠に供えて)

-----  
雷の音。

ピョン 龍神が、戻ってきたわ。

コン平 ピョン、いくぞ。

-----  
龍神、上手より現れる。龍神は、三匹に飛びかかってくる。

三匹 わー。(三匹は下手に逃げる)

龍神 こらー、まちやがれー。

-----  
龍神、三匹を追って、下手に退場。

辺りが暗くなり、激しい風雨の音。

龍神、下手より現れる。祠のまわりを、飛びまわる。

龍神 ちくしよめ、逃げ足の速い奴らだー。腹がへったぞー！オ

レ様の生け贄はどこにある。(さがしまわる)オレ様の生け贄はどこ  
だあー。(ナスの生け贄に気づき)これは何だあ。(においをかぐ)  
フンフン。腹がへったぞー、食ってやる。(ナスを次々食べる)これ  
は、うまい。うまいぞ。(すっかり食べ終えて)ゲエツプーウ。腹い  
っぱいだあ。

-----  
龍神、下手に飛び去っていく。

激しい、雨と雷鳴。

下手上空から、龍が上手に横切り、去っていく。

雨、静かになって、せせらぎの音に変わる。

暗転。

## 第5場 エンディング

-----  
祭りの音楽。

舞台一面、黄色に実った稲穂。

村人たちの笑い声。

ナレーション。

オーバーラップするように、画面中央にとしとらず川が流れるのどかな村の

風景。

夕景の中を、数羽のカラスが、下手から上手に飛んでいく。

ナレーション

それからというものの、村人たちは、毎年、生け贄の代わりに、たくさんのナスのお供えをするようになりました。

龍神は、ナスのお供えが気に入ったのか、暴れ川だったこの小さな川は、再び洪水を起こさなくなり、静かな流れの川となったそうです。そして、不思議なことに、龍神が山に戻っていく冬には、あんなに流れていた川の水が、（静かな音楽）すっかりなくなってしまうのです。毎年、決まって年を越す頃になると、すっかり水がかれてしまうのです。昔は、お誕生日に歳をとるのでなく、お正月に歳をとる決まりだったので、この川は年を越さないといわれるようになり、いつしか「としとらず川」と呼ばれるようになったということだそうです。

----- 音楽大きくなる。

「おわり」のタイトルで。

暗転。

音楽、静かに終わる。